

# 公益財団法人同盟育成会 同盟学寮白山寮

No. 19-013-2015作成  
新築  
集合住宅

発注者	公益財団法人同盟育成会	カテゴリー				
設計・監理	(株)安藤・間一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	(株)安藤・間	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 簡素堅牢機能的、地域共生の学生寮

### 働く学生のための学生寮

施主は経済的に苦しい青少年の学業達成を支援するための学生寮を運営している。寮生対象者は働きながら、学校へ行っている学生だ。寮の運営は基本的に寮生の自治委員に委ねられ、学生の自立性、協調性が試され成長していく環境が整っている。寮の規則として、掃除等の当番、年間行事の参加義務、提供される食事の時間制限、門限がある。学生の生活は規律があり、健康的だ。施主と打合せをする時に、「簡素堅牢機能的」となるように、という要望が時折あり印象的だった。同盟学寮白山寮は「簡素堅牢機能的」な建物となるようシンプルな形体の中に確かな生活の場がある設計を心掛けた。

### 地域住民との共生

敷地は都営三田線の白山、千石両駅から徒歩8分程度の立地だ。周辺は住宅が多く閑静な土地柄で前面道路は4m程度、隣地住居との距離も近い。周辺の戸建住宅と比べるとボリュームが大きく近隣住民から不安視する声も上がったが、地道に対話を繰り返し友好的な関係を築くことができています。配置計画では隣地境界線側になるべく距離をとり圧迫感を軽減するよう計画した。沿道には多様な植物を植えることで道行く人の目を楽しませたいと考えている。騒音計画では暗騒音が小さいので共同使用する部屋はサッシ等級を上げることで周辺へ話し声等が聞こえにくい計画とした。



外観

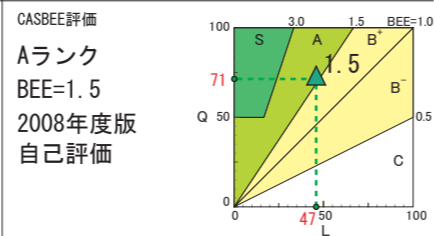


アプローチ



エントランス

所在地	東京都文京区
竣工年	2014年
敷地面積	1,040㎡
延床面積	1,750㎡
構造	RC造
階数	地上5階



寮室

### 協調性が養われる2人部屋の寮室

約16㎡の寮室が27部屋計画されている。学習机とベッドが置かれたコンパクトな部屋だ。風通しを良くするために上げ下げ窓付開き戸を採用している。



外観スケッチ

### 周辺住居に馴染む色彩、ボリューム、グリッドデザイン

周辺住宅に合わせて外観は彩度が低い中間色を採用した。ボリュームは必要最低限の高さとし周囲への圧迫感を軽減するようにした。キューブが多い街並みに馴染ませるようグリッドデザインを採用している。



食堂



テラス

### コミュニケーションを育む多様な共用室

食堂では朝夕と食事が提供される。時間が指定されているので寮生が顔を合わせて食事する憩いの場だ。静養室は体調の優れない寮生や感染症にかかった学生のための部屋。会議室では定期的に自治委員会が開かれストックに議論がなされている。自習室は寮室以外の勉強場所として寮生の居場所に幅を与えている。



自習室



会議室



静養室



浴場

設計担当者

建築：前田学、弓野将義／構造：川嶋隆介／設備：金原英佑、川崎一範

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物高さ抑制、まちなみとの調和をはかった色彩計画)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、潜熱回収型給湯器、全熱交換器)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型便器)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (地域環境を考慮した建物の配置、沿道緑化)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮 (周辺環境を考慮したサッシ等級)